

コース概要

(1)コース名称

小児科 新生児科 (専攻)コース

(2)コース責任者(職・氏名)

氏名 柿沼 亮太 役職名 新生児科 医長

(3)責任指導医(職・氏名)

氏名 岡崎 薫 役職名 新生児科 医長

(4)コース目標

周産期専門医(新生児)を取得する。新生児医療チームのリーダーとして、診療計画を立て実践し、指導教育ができる。

(5)研修計画の概要

あらゆる疾患に対応が可能なため、幅広い研修が行える。研修期間は3年間。1年目は基礎的な新生児医療を確実なものとする。2年目後半の6か月間は他施設、関連他科での研修も可能。3年目は経験症例数を増やすと同時に、外来フォローアップ、レジデント教育指導、臨床研究まとめなどを行う。

(6)研修目標(研修期間内に経験すべき症例数、手技等の件数、実施予定の臨床研究テーマ(例)、国内外学会発表目標数、論文投稿目標数ほか)※件数含めて具体的に記載すること。

周産期専門医制度に準ずる。ハイリスク分娩立会20例以上、正常新生児管理50例以上、超低出生体重児10例以上、極低出生体重児20例以上、中枢神経疾患5例以上、重症感染症3例以上、循環器疾患5例以上、新生児黄疸管理5例以上、血液疾患凝固異常3例以上、先天異常(染色体異常など)3例以上、小児外科疾患5例以上、極低出生体重児フォローアップ3例以上。その他、低体温療法、NO吸入療法、低酸素療法、交換輸血、胸腔穿刺、新生児搬送などを経験し技術を習得する。学会発表は年2回、論文投稿は3年間で2編を目標とする。

(7)連携研修施設(都立・公社病院)での研修概要(連携する都立・公社病院名も併せて記載すること)

連携して研修する都立病院または公社病院名	都立墨東病院	都立大塚病院	病院
上記施設の他、当センター病理診断部、大学病院において研修を行った。			

(8)具体的研修計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	小児総合医療センター新生児科											
2年次	小児総合医療センター新生児科						希望により他科、他院での研修					
3年次	小児総合医療センター新生児科											

(9)修了後の活用方法概要

周産期専門医(新生児)を取得し、当センターもしくは、全国の周産期センター新生児科医師として活躍することを期待する。